

社会福祉法人 風祭の森

風祭の森通信

第16号

2017年1月号

社会福祉法人 風祭の森

理事長 長根 直幸

〒250-0032

神奈川県小田原市風祭563

電話:0465-24-6561

FAX:0465-21-6506

E-mailアドレス

mail@kazamatsurinomori.or.jp

ホームページアドレス

http://kazamatsurinomori.p-kit.com/



謹賀新年

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も地域社会における福祉の充実、向上に寄与するため、安心、安全と信頼のできる良質な福祉サービスの提供など社会福祉施設としての使命と責任を果たしてまいりますので、引き続き皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立15周年の年明けにあたり

何よりも 安全で、安心できる太陽の門に

理事長 長根 直幸

あけましておめでとうございます。年頭に当たり、一言、ご挨拶申し上げます。

例年行われている箱根駅伝も選手の安全確保を第一に応援する人々の場所や旗振りに細かな規制が設けられたようです。今年も太陽の門の利用者の方々は決められた場所で整然と力いっ



小田原に勤め、横浜に住んでいる私にとって、去年は忘れられないことが起きた年でした。県内福祉施設での悲惨な事件や福島からの転校生に対する「いじめ」という事件もありました。

ある作家が、「人間って、異質を嫌い、同化を謳い、他者を排斥せざるにいられない矛盾だらけの生物ですね。」と書いています。たしかに施設職員の業務は重労働であり、利用者に寄り添った支援が求められていますが、その反面、利用者の笑顔に職員は心が洗われる喜びも感じて日常業務に励んでいます。太陽の門のある利用者の保護者の方が「レクリエシ

ョンに連れて行ってくれるのも有難いが、何よりも安全で安心して暮らせるように気を配ってくれることが一番大切なことだ」といわれたことが忘れられません。

太陽の門では、その安全・安心を担保するために、職員相互の意識の変革を促す研修や介護技術の実技研修、職員間の情報共有の徹底などに努めてきました。「太陽の門」の門はいつでも開けられています。言葉で表現できない利用者から表情などで訴えるサインを見逃さず、ご家族や地域の方々と共に歩む施設づくりに邁進してまいります。

去年は施設設備保全のために、玄関前エントランスの全面改修等を行いました。今年は事業の新たな展開に着手し、県西地域に根付いた事業所として、その活動に生き生きと誇りを持って取り組むことができるよう全力を注いでまいります。

皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成29年の新春に当たり職員の方々から「新年の抱負」をいただきましたので紹介させていただきます。（敬称略）

渡部 治子
(看護課長)

あけましておめでとうございます。法人理念である「利用者さん一人ひとりのために全てを優先して貢献することに誇りを持つ」職員育成を目標に、知識・技術を共に学ぶ一年にしたいと思っております。

小倉 仁
(生活支援課)

昨年3月に入社し、1年が経とうとしていますが、業務に追われまだまだ未熟だと感じています。今年は利用者さんの個性や変化にもっと気付けるように、日々のかかわりを大切にしていきたいと思えます。

加藤 智奈美
(看護課)

重心看護がやりたくて、太陽の門へ入社し、はじめは不安ばかりでしたが、徐々に職場にも慣れ、利用者さんとの関わりを通して楽しく仕事をさせていただいています。このたび産休に入りますが、元気な赤ちゃんを産んでまた戻ってきます!!

芹澤 裕子
(生活支援課)

昨年5月に入社してから、ご利用者、ご家族、先輩方やスタッフの皆様、多くの学びと笑顔を頂けて有難く感じています。今年は恩返し的一年となるように努めていければ幸いです。

江川 歩
(生活支援課)

新年明けましておめでとうございます。昨年9月に入社させていただき3ヶ月が過ぎました。今年は支援職として様々なことにチャレンジし、自分を高めていけるような一年にしたいと思えます。

原田 康平
(生活支援課)

今年も何事に対しても勉強のスタンスで取り組み、介護のことや医療のこと、利用者さんそれぞれの関心事など、いろいろな知識と経験を得ていきたいと思えます。

佐々木 由加里
(生活支援課)

エルガー作曲の「愛のあいさつ」と「威風堂々」第1番をピアノで弾けるようになりたいので、少しずつ練習をします。

市川 和樹
(生活支援課)

新年を迎え、より一層気持ちを引き締め、利用者さんを第一に考え、一生懸命頑張ります。

田口 潤
(生活支援課)

昨年7月からお世話になっています。明るく元気に楽しく利用者さんと過ごしたいと思います。よろしくお願ひします。

眞弓 千春
(地域支援課)

あけましておめでとうございます。入社してからもうすぐ1年になろうとしています。利用者さんの健康管理はもちろんですが、自らの健康にも気をつけていきたいと思えます。

大津 智重美
(地域支援課)

利用者さんの笑顔を見て、うれしい気持ちになります。これからも利用者さんと一緒に笑顔で過ごしていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

永年勤続表彰おめでとうございます

平成28年10月29日の秋祭り開会にあたり、当法人で10年の永きにわたり職務に精励された功績をたたえ、永年勤続職員表彰を行い、3名の職員が受賞されました。今後も当法人発展のため、ご尽力くださいますようお願いいたします。なお、この度受賞されました皆さんから受賞の喜びと今後の抱負についてご寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。（敬称略）



松本 眞弓（看護課）

新しい年がスタートしましたが、施設に於いても季節の行事を堪能しつつ、通常の生活に戻っています。1日、1年が早く感じられる中、昨年は10年の永年勤続を表彰していただきました。これを機に初心に戻り、看護技術や知識を高め活かしていきたいと思います。そして、施設の理念を踏まえながら、利用者様が安全安心な生活を送ることができるよう工夫していきたいと思います。

関口 隆博（地域支援課）

このたび勤続10年を迎えることができました。この施設で働くきっかけとなったのは学生実習でした。それまでは障害のある方と関わったことがほとんどなく、緊張しましたが、それ以上に利用者の皆さんと関わることが、とても楽しかったことを覚えています。これからも利用者の皆さんが、笑顔で過ごせるように精一杯頑張っていきたいと思っています。

川口 浩司（事務課）

これまで多くの方々に支えられ、今回勤続10年という表彰をいただくことができ、心より感謝いたします。事務所での業務ということもあり、利用者さんと接する機会は多くはありませんが、皆さまが安心して日常生活を送れる、より良い施設になるよう微力ながら頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



「いざというときに備えて」（総合防災訓練）

昨年は4月に熊本地震が、10月には鳥取県中部地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。この2つの地震は南海地震の前触れではないとも言われています。また、近年の異常気象による集中豪雨や土砂災害など自然災害が多発しています。このような中当法人では、毎年2回の総合防災訓練と毎月部署別避難訓練を実施しており、入所者の皆さんを建物の外に一時避難する訓練や消防署に被害状況の報告をする訓練、炊き出し訓練、消火訓練など、いつ災害が来ても対応できるように真剣に取り組んでいます。

「玄関前エントランス改修工事が完成」

開設以来14年が経過し、玄関前エントランスは人の出入りや車の乗り入れなどによるタイルのひび割れや一部がはがれるなどしていたため、長期施設保全計画として平成28年9月から10月にかけて改修工事を実施いたしました。

この工事では、地盤の補強や車などの進入に耐えられるような、また雨の日に滑りにくい素材のタイルを使用するなどして、美しいエントランスに生まれ変わりました。



家族会だより

家族会会長 天野 隆博

新しい年の初めにあたり、本年も大勢の皆様いろいろな世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年で太陽の門が誕生して15年になります。家族会も同じ年の12月に発足しましたので15年経過することになります。そこでこの機会に家族会の存在理由について考えてみたいと思います。

今から6,7年前に国の障害者対策を検討する会議で「重症心身障害児施設は人権侵害」という意見が多く委員から出されたことがあります。この会議には障害者団体代表や障害福祉従事者も参加していました。この時は全国重症心身障害児(者)を守る会(略称「守る会」)が「重症心身障害児(者)の命を守り、人権を守るためには重症心身障害児施設は絶対不可欠なのです。」などと強く要望して事無きを得ました。

重症心身障害児(者)は自分では何も主張できません。それを守っていくのが私達家族です。家族も個人個人では力が弱いので、みんなで力を合わせる必要があります。それが家族会の存在理由の一つであると思

後援会だより

後援会会長 勝俣 孝二

新年明けましておめでとうございます。

後援会の皆さま、また施設関係の皆様におかれましては、日頃より風祭の森後援会の運営に温かいご支援ご協力を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

後援会設立14年目を迎え今年は、施設利用者をはじめ、大変な苦労のもとこの施設で働くスタッフの皆様が、全てにおいて楽しくまた、安全で安心して利用できる施設の発展に少しでも寄与出来るよう非力ながらも応援をしていきたいと思

本会の趣旨をご理解いただき一層の、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

皆さまのご多幸とご健勝をお祈りいたしまして、ご挨拶と致します。

編集後記

新しい年が始まりました。今年の干支は『丁酉』
丁酉の年は「積み重ねが結実を迎える年」だそうです。
現状に甘んずることなく、日々新たな取り込みを考え工夫し、
職員皆で力を合わせて進んでまいります。
本年もよろしくお願いいたします。

